

## 2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 熊本県立八代高等学校 ] 担当教諭名 [ 渡邊 久美子 ] ( 1・2年希望者 29名 )  
 相手国・地域 [ スロバキア ]  
 海外学校名 [ School of Art Industry ] 担当教諭名 [ Pavel Michalič ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な探究の時間	「SDGsを学ぶ」, 「SDGsで課題発見」	13
	総合的な探究の時間	「課題研究 コース別プロジェクト」, 「振り返り」	18
	自主活動	放課後・休日の自主活動	30

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	自然 地球 未来
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	未来のことを考える。守りたい自然と地球のことを考える。 目で見ることが出来ないものに対して考えることが大切だ。 私たちは考え、気づくことで、私たちの振る舞いを変えることができる。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19 感染拡大の影響や豪雨災害の影響で計画通りに進めることができなかったが、だからこそ、励ましの言葉をもらった時の嬉しさを知り、また、相手校の生徒たちを気遣う優しさを持った。</li> <li>・壁画や動画の制作を通して、達成感を得るとともに、SDGs への意識を高めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子フォーラムでのやりとりをもっと活発にできたら良かった。</li> <li>・初めての取組で段取りがうまくできなかったことと、相手校の休校が続いたこととで、オンラインでの交流や意見交換の機会を持つことができなかった。</li> <li>・担当者の英語力が必要だと痛感した。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界や地域の現状, SDGs について学びを深める中で、当事者意識を持つようになった。</li> <li>・「身近なことに関心を持って新しい発想を持つことが問題の解決に繋がる」「SDGs を達成するには見えないことに思いを馳せることが大事」「知ることによって行動が変わる」「相手を思うこと、繋がるのが大事」といった言葉が出てくるようになり、主体性が向上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場に行くこと、他者と関わること、具体的な制作物で表現すること、協働すること等、五感を通じた経験が生徒たちの意識を変えるのだと実感した。</li> <li>・国際協働がこんなにもワクワクするものなのだと知った。このような経験を重ねることで、多様な他者と対話し協働することの価値に気づき、異なるものを受け入れる寛容さが生まれるのではないかと感じた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 ～ 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsを学ぶ(新聞, 資料, 動画)</li> <li>地域の河川と海辺の清掃ボランティアに参加</li> <li>自己紹介を電子フォーラムに掲載</li> </ul>	多くのゴミが海に捨てられていることに驚き, 実際に活動することで感じることや考えることがたくさんあると気づいた。環境への関心が高まった。	総合8 自主3
共有 テーマ学習	7月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs12をテーマに調べ学習, 地域の方々による講義を聴講, 討論</li> <li>学んだことをパワーポイントでまとめて電子フォーラムに掲載</li> </ul>	2020年の日本の“Earth Overshoot Day”が5月12日であったことに衝撃を受け, 私たちが今「未来の資源」を使っていることを重く受けとめていた。	総合8 自主5
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>スロバキアの文化や COVID-19 の感染状況について調べ学習</li> <li>地域の方々との意見交流</li> <li>相手校への励ましのメッセージを電子フォーラムに掲載</li> </ul>	相手校への励ましのメッセージを考える中で, 「日本の文化である漢字で, 伝えたい思いを表し, その表す意味を英語で伝えよう」というアイデアが生まれ, 皆がそれに賛同した。	総合5 自主3
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手校から送られてきたスロバキアの自然や文化, 豪雨災害の様子のスライドを見て学習</li> <li>壁画に込めたいメッセージと壁画のデザインを相手校と決める</li> <li>壁画の制作</li> </ul>	相手校への励ましのメッセージとして選んだ漢字「輪・和・環・繋・絆・願」が壁画に込めたいメッセージの土台となった。そして, 中心に地球, その地球を包む手のひら, その周りを囲む豊かな自然と文化という構図になった。	総合3 自主15
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19 影響下の学校生活をテーマに制作した動画を電子フォーラムに掲載</li> <li>ポスターセッション, 振り返り</li> <li>壁画の鑑賞</li> </ul>	ポスターセッションの時, 自分たちが描いた絵の写真と相手校が描いた絵の写真を用意し, 二つをくっつけて一つの絵にするパフォーマンスで「協働と友好」を表現していた。	総合7 自主4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	生徒たちは, 相手校から届いたスライドに感動し, スロバキアと日本の自然や文化の共通点や相違点に関心を持った。また, COVID-19 の対策に国や文化の違いが表れているのではないかと話していた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	生徒たちは, 相手校の休校が続いていることから, 新聞やテレビのニュースで見ただけだったヨーロッパの COVID-19 感染拡大の状況が自分たちに関わる問題であると認識するようになった。
主体的に考え行動する力	5	スケジュールが遅れ, 短期間で絵を描き上げる日程になったが, 生徒たちは, 放課後や休日を使って集中して描画に取り組み, 壁画を完成させた。リーダーを中心に工夫しながら協力して取り組んでいた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	相手校の休校が続いていることを知り, 生徒たちは「豪雨災害の被害を受けた時に励ましてもらってとても嬉しかったから, 今度は自分たちが励ましのメッセージを送りたい」という気持ちを持ち, どんなメッセージを送れば喜んでもらえるかと一生懸命考え, 話し合っていた。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	生徒たちは, 伝えたい思いを考える中で, COVID-19 の問題も SDGs12「つくる責任 つかう責任」もその他の SDGs も繋がっていることに気づき, そのことに自分たちで気づけたことに感動していた。